

| 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---------------------|--|--|---|--|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 教育課程 学習指導 | ・児童・生徒の自立と社会参加を目指して、各教育部門、小学部・中学部・高等部を通した一貫した教育を行ない、系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。 | ①学習指導要領を踏まえた、適切な教育課程の編成や、授業改善に取り組む、系統性のある学習内容を構築する。 ②1人1台端末や電子黒板等を利用した授業づくりや個別の教育的ニーズに応じた学習指導の充実を図る。 | ①教育課程変更内容を保護者・関係機関に周知するとともに令和9年度実施のための調整を行う。教育的効果の向上と業務効率化の両面の中長期的な目標・方向性を保護者に示す。 ②丁寧なICT機器活用事例紹介と、電子黒板と連動した一人一台端末活用のための研修を繰り返し行い、紹介事例を体験する場を設定する。 | ①令和9年度実施に向けた教育課程の変更に向けて実効性のある調整ができたか。中長期的な目標・方向性を示すことができたか。校外での活動についてねらいや内容を整理し、小中高の系統性を見える化できたか。 ②事例紹介や研修会を実施し、児童・生徒の実態に適したICT機器を活用した授業づくりの成果をまとめられたか。 |
| 2 児童・生徒 指導・支援 | ・児童・生徒一人ひとりの実態や支援ニーズ、生活年齢を十分に踏まえた上で、アセスメントを充実させ、指導・支援を組織的、計画的に取り組む。 | ①児童・生徒の実態や本人の思い・願いを踏まえ、教育的ニーズに応じた指導・支援に取り組む。 ②指導・支援を組織的に行うための体制を構築し、課題の解決に向けた取り組みを充実させる。 | ①児童生徒に適したアセスメントを行い根拠のある個別教育計画を作成する。アセスメント結果を個別教育計画や授業に反映させるための手順の共有について検討する。 ②地域・保護者の意見を取り入れ「スタンダード」の充実を図る。 | ①専門職や相談担当教員、関係諸機関等と連携してアセスメントを行い、個別教育計画を作成できたか。アセスメント結果を個別教育計画や授業に反映させるため、組織的に取り組める手順を検討できたか。 ②地域・保護者の意見を取り入れて「適切で丁寧なかかわりのスタンダード」の見直しを行えたか。 |
| 3 進路指導・ 支援 | ・将来の一人ひとりの生活を充実をめざし、自己選択、自己決定する力を高めるとともに、卒業後の進路を視野に入れ、障がいの特性や発達段階に応じた進路指導・支援を行う。 | ①小学部・中学部・高等部を通した一貫したキャリア教育全体計画を立て、将来を見据えた育てたい力の育成を図る。 ②保護者への進路情報や福祉制度に関する各種情報を周知し、そのニーズに応えるとともに理解啓発を図る。 | ①B部門におけるキャリア発達3段階表のポイントをねらいとした教科学習・自立活動の実践の共有を図る。小中高の発達段階に応じた自己選択・意思形成促進をねらいとした授業展開を行う。 ②進路専任と連携した学習、指導・支援を継続するとともに中学部段階からの積極的な進路についての対話を推進する。 | ①キャリア教育一覧表を基にした授業実践の共有を図ることができたか。自己選択・意思形成促進をねらいとした授業を展開できたか。 ②進路専任と連携した学習を積み重ねることができたか。進路説明会や福祉制度説明会、事業所見学等を小中学部保護者へも参加してもらうことができたか。 |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和6年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|---|--------------|--|--|--|---|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 4 | 地域等との協働 | <p>・他者理解と多様性を認め合う共生社会の実現に向け、障がいのある児童・生徒の理解啓発を図るため、地域への発信や、地域と連携した教育活動を充実させる。</p> | <p>①地域における支援教育の充実や特別支援学校におけるセンター的機能を発揮できるように努める。</p> <p>②他者理解と多様性を認め合う共生社会の実現に向け、地域と連携した教育活動を充実させる。</p> | <p>①人的交流による成果物を活かした新たなセンター的機能の活用在り方を検討する。前年度の反省やそれぞれの教育的ニーズを十分にすり合わせて居住地交流や学校間交流を実施し、強みや興味関心を伸ばす工夫を行う。三の丸ホールで学校作品展を実施する。展示作品の氏名表示や、出品する作品選出の在り方の検討を行う。</p> <p>②小中高それぞれの発達段階に応じて継続的に地域へ貢献する活動に取り組み、児童生徒の自己肯定感の育成につなげる。</p> | <p>①地域の関係機関のニーズに応じて、学校全体で巡回相談等を実施するとともに、人的交流による成果物の活用方法を整理することができたか。互いのニーズや子どもの強みや伸ばしたい力を共有して目標設定することにより、交流及び共同学習等の実施を進展できたか。作品選出方法や表示方法を整理するとともに居住地での作品展の充実を図ることができたか。</p> <p>②小中校の段階に応じた地域貢献活動を設定することができたか。地域の資源の活用や地域企業と連携を図り、継続的に地域への貢献を果たすことができたか。</p> |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <p>・児童・生徒の安全と健康を守り、防災教育に取り組み、良好な教育環境の整備を推進する。</p> <p>・不祥事防止に努め、教職員一人ひとりが当事者意識を持ち、良質の同僚性を構築し、教職員の人格的資質</p> <p>・専門性の向上を図るとともに教職員の働き方改革を推進する。</p> | <p>①災害時等に備えた緊急時の組織的な危機管理体制の確立と防災教育の充実を図る。</p> <p>②不祥事ゼロをめざし不祥事防止に向けた会議・研修会の実施及び啓発活動を継続して行う。また、働き方改革を推進し、質の高い教育の充実を果たす上でも教職員が一定程度ゆとりをもって授業に臨めるようしていく。</p> | <p>①・多くの施設とのパートナーシップの広がりを模索するとともに、災害時また災害時以外でのつながりも模索する。小田原支援学校で大井高校敷地校舎を管理。分教室独自の避難訓練、不審者対応訓練の計画と実施する。B部門の避難時の体制・避難ルートの見直しと教室配置の検討を行う。</p> <p>・校内の安全な環境整備を進める。</p> <p>②校務支援システムの活用や活用しやすい仕様へ校務フォルダの整理を実施し業務の効率化を図る。目指すビジョンを共有できる職員ワークショップを開催する。</p> | <p>①地域施設との一時避難等のパートナーシップを増やすことができたか。大井分教室単体の訓練計画を立案し、体制を整えることができたか。想定訓練時において児童・生徒の安全を確保できる体制を作れたかより安全な教室配置について方向性をまとめることができたか。</p> <p>②不祥事ゼロが達成できたか。不祥事防止に係る啓発資料等の作成、会議や研修会の実施状況から検証する。校務支援システムの活用や活用しやすい仕様へ校務フォルダを整理し業務の効率化につなげられたか。目指す方向性を一堂で考えることで、教職員の主体的な学校づくりへの意識変化はあったか。</p> |